

**講座
10**

いのちを支える科学と社会を考える

オンライン併用

【会場定員】72名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『自然科学』いのちの科学 【時間】 毎回13時00分～14時30分（計12回）

概要

科学は生命の謎を解き明かします。一方で、遺伝、生殖、出産の分野で進む先端技術によって、人がどこまで命の操作をしてよいか、身近な選択となった迷い多い現代です。AIの発達で人と脳、ロボットとの関係、人間とは何かが問われています。講座では、このような時代、長寿化社会のなかで、一人ひとりの意思が尊重される医療や介護など、いのちを支える仕組みを学ぶとともに、世界の動きを視野に人類の未来につながる「いのちと社会」について考えます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(月)	川崎市生涯学習プラザ	生命科学と社会の関わりの全体をとらえる～種差別から命の選別、エンハンスメントまで～	市民科学研究室代表 上田 昌文
2	4/15(月)		性と生殖：何がどう変わろうとしているのか～性の多様性、ゲノム編集技術、生殖医療の行方～	
3	4/22(月)		脳と心の不思議な世界 ～ 38億年の創造物～	元NHK解説委員 室山 哲也
4	5/13(月)		サイボーグ人間の誕生 ～ ロボット化する人のいのち～	
5	5/20(月)		炎天下の運動はなぜ危険？	元帝京平成大学大学院教授 医学博士 鶴岡 正吉
6	5/27(月)		人間は何歳まで生きられるのか？	
7	6/3(月)		AIによる遠隔画像診断とこれから **遠隔講義	株式会社エムネス副会長・霞クリニック院長 北村 直幸
8	6/10(月)		遺伝・ゲノム医療と患者・市民参画	東京大学医科学研究所教授 武藤 香織
9	6/17(月)		在宅・緩和医療&ケアをどうつくりだしたか～望めば叶う「暮らし慣れた場所」での最後～	認定NPO法人「マギーズ東京」共同代表理事 訪問看護師・保健師 秋山 正子
10	6/24(月)		成年後見制度などの支え ～「個人の意思と判断力」の保護のために～	弁護士 社会福祉法人日本フレンズ奉仕団理事 伊藤 恵子
11	7/1(月)		プラスチック汚染問題の行方	共同通信客員論説委員 内城 喜貴
12	7/8(月)		人類のいのちに関わる3つのテーマ～温暖化、原子力、戦争と平和～	ジャーナリスト、元NHKディレクター 軍司 達男

連絡事項

「**遠隔講義」とは講師の先生は職場からオンラインでご講義くださり、会場でご受講の皆様にはスクリーンでご受講いただきます。